

平成 17 年 5 月 19 日

各 位

会社名 川崎近海汽船株式会社  
代表者名 代表取締役社長 荒木武文  
(コード番号 9179 東証第 2 部)  
問合せ先 経営管理部長 木村孝史  
(TEL:03-3592-5811)

#### 新中期経営計画(06.3 月期～08.3 月期)の策定について

当社は、昨年 6 月に 2007 年 3 月期を最終年度とする中期経営計画を策定しましたが、好調な外航海運市況のもとで、時機を得た船隊増強により、特に近海部門においては、第一年度から目覚ましい業績の向上が見られました。この結果、最終年度の目標としていた売上高 300 億円、経常利益 20 億円は二年前倒しで達成しました。近海部門では、今後も高レベルでの市況継続が予想されることから計画の上方修正を行い、新たに 2006 年 3 月期をスタートとする三ヵ年の新中期経営計画を策定いたしました。

当社としては当期間に経営基盤をさらに強化するとともに、着実に業容の拡大を図って行きたいと考えております。

新中期経営計画の概要は次のとおりです。(数値は全て連結ベース)

#### ・利益計画

- (1) 売上高 300 億円超を継続し更なる業容の拡大を目指します。  
部門別割合は、概ね近海部門 45%、内航・フェリー部門 55%とします。
- (2) 経常利益 30 億円台を継続して確保します。

#### 部門別課題

##### 近海部門

中国の目覚ましい経済成長を背景に、近海マーケットは、計画期間中、堅調に推移すると思われます。運航船腹は現在 24 隻ですが、石炭輸送用のバラ積み船、鋼材・木材製品輸送用の貨物船等で新造船 5 隻を投入し、引き続き収益の向上を目指します。

##### 内航部門

運航船腹は現在 16 隻ですが、新造 RORO 船及び内航貨物船建造により輸送量を拡大する計画です。不定期船部門では、石灰石専用船を安定収益の柱に輸送量増加にも積極的に取り組んでまいります。また RORO 船による定期航路でも現在までに築いてきた収益性を確実なものにするべく、安定収益の維持に努めます。

##### フェリー部門

運航船腹は現在 4 隻ですが、八戸/苫小牧を最短ルートで結ぶ旅客フェリー及び東京/苫小牧を 30 ノットで高速航行を行う貨物フェリーでは、不特定

多数の顧客に対するサービス向上を図る一方で、今後進展するモーダルシフトに積極的に対応し、さらに収益体質の維持強化に努めてまいります。

単位：百万円

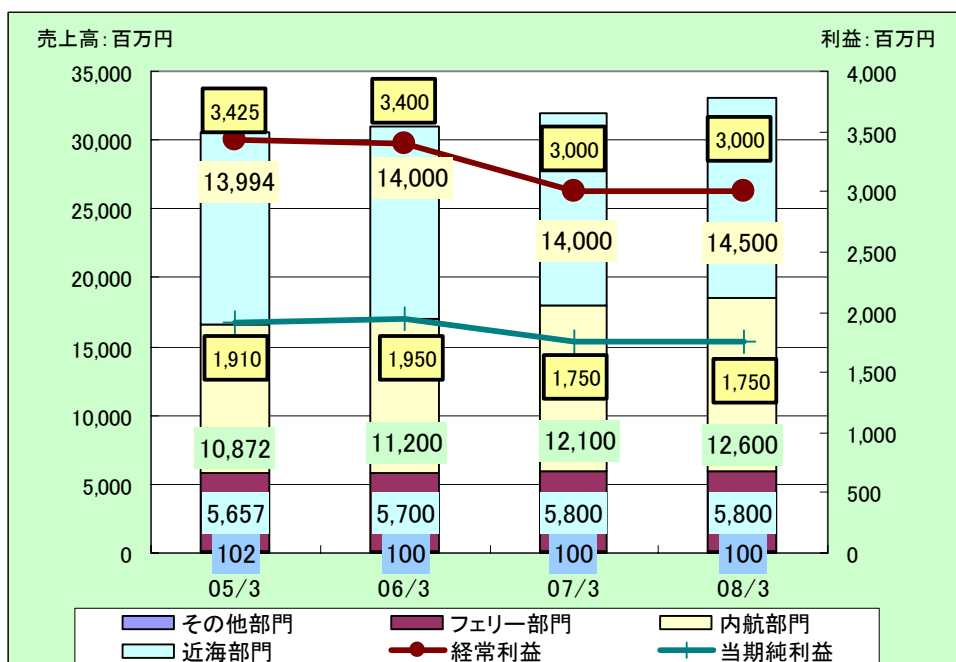
|       | 05/3   | 06/3   | 07/3   | 08/3   |
|-------|--------|--------|--------|--------|
| 売上高   | 30,626 | 31,000 | 32,000 | 33,000 |
| 営業利益  | 3,711  | 3,600  | 3,200  | 3,200  |
| 経常利益  | 3,425  | 3,400  | 3,000  | 3,000  |
| 当期純利益 | 1,910  | 1,950  | 1,750  | 1,750  |

|        |         |         |         |         |
|--------|---------|---------|---------|---------|
| 近海部門   | 13,994  | 14,000  | 14,000  | 14,500  |
| 内航部門   | 10,872  | 11,200  | 12,100  | 12,600  |
| フェリー部門 | 5,657   | 5,700   | 5,800   | 5,800   |
| その他部門  | 102     | 100     | 100     | 100     |
| 合計     | 30,626  | 31,000  | 32,000  | 33,000  |
| 為替レート  | ¥107.50 | ¥105.00 | ¥105.00 | ¥105.00 |
| 燃料油価格  | ¥30,662 | ¥35,000 | ¥35,000 | ¥35,000 |

為替の影響度：5円変動で約1億5千万円

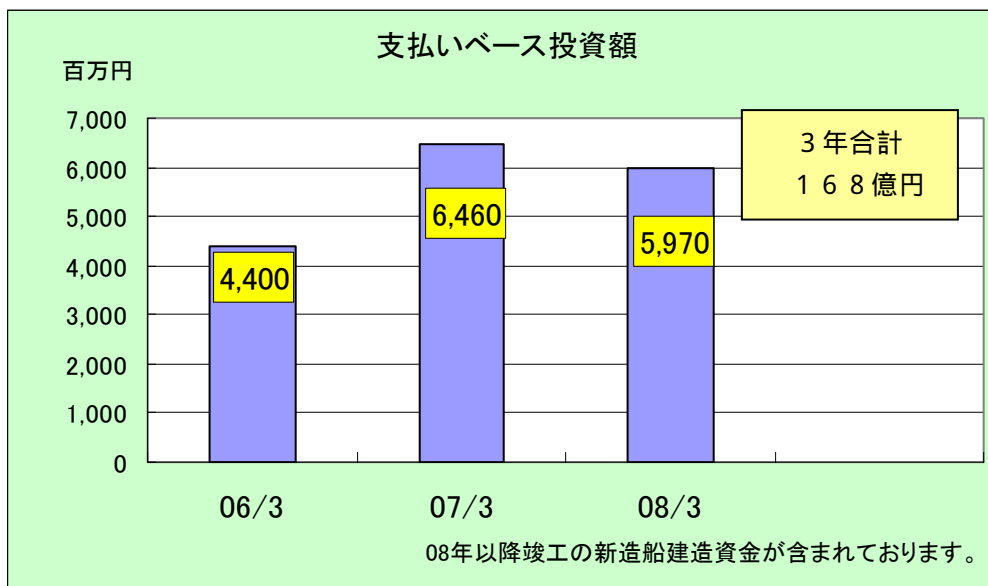
燃料油価格の影響度：¥1,000/KL変動で約1億5千万円

06年竣工の新造RORO船2隻は定率償却の予定としており、07/3月期及び08/3月期の定率/定額償却差は約450百万円



、投資計画および財務指標

(1) 近海部門及び内航部門における新造船建造等に対する投資規模は三年間で総額約 170 億円を予定しています。



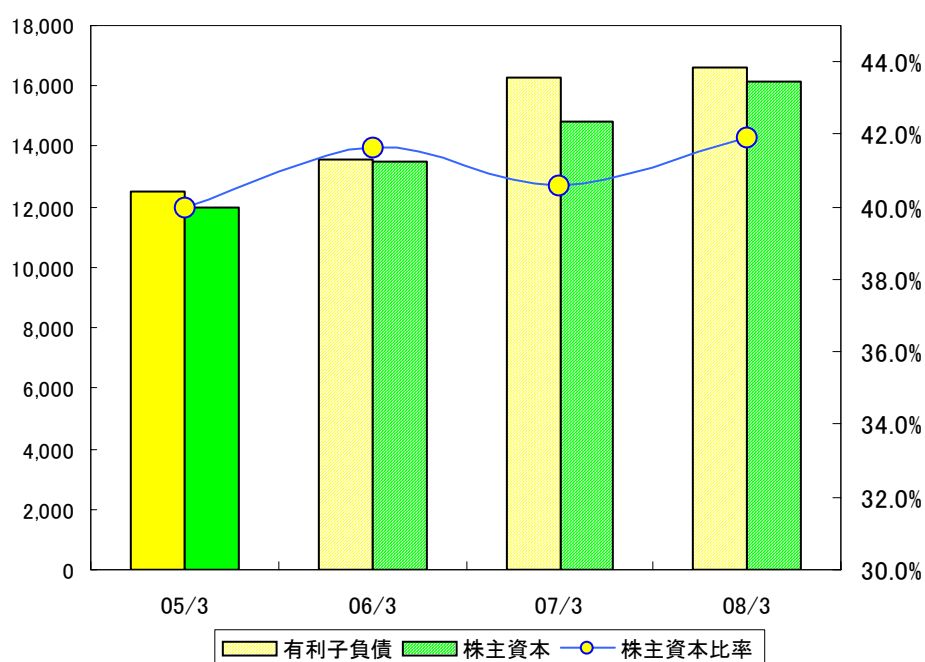
**期間中の竣工船**

|               |        |    |         |
|---------------|--------|----|---------|
| 近海部門：不定期船バルカー | 24000型 | 1隻 | (社船)    |
| 同上            | 16000型 | 1隻 | (社船)    |
| 定期船           | 10000型 | 3隻 | (内傭船1隻) |

|             |        |    |      |
|-------------|--------|----|------|
| 内航部門：不定期船小型 | 499型   | 1隻 | (傭船) |
| 不定期船専用船     | 6000型  | 1隻 | (社船) |
| 定期船RORO船    | 14000型 | 2隻 | (社船) |

(2) 一方バランスシートの健全性を維持するため、株主資本比率は40%以上を、またDERは現行水準の維持を図ります。

|        | 05/3   | 06/3   | 07/3   | 08/3   |
|--------|--------|--------|--------|--------|
| 株主資本   | 12,049 | 13,523 | 14,831 | 16,116 |
| 有利子負債  | 13,285 | 13,581 | 16,358 | 16,983 |
| 株主資本比率 | 38.6%  | 41.6%  | 40.6%  | 41.9%  |
| ROE    | 17.1%  | 15.3%  | 12.3%  | 11.3%  |
| DER(倍) | 1.10   | 1.00   | 1.10   | 1.05   |



#### ・ 配当

安定配当の継続を第一目標とし、06年3月期の年間配当金は1株当たり10円を予定しております。07年及び08年3月期につきましては所期の目標を達成できれば年間配当金は1株当たり10円を継続する予定です。

以上